

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2020 年 10 月 7 日作成 第 2 版

研究課題名	感染症契機で再入院をきたす心不全患者の背景要因と入院後の経過に関する後ろ向きコホート研究
研究の対象	2013 年 1 月～2017 年 12 月に横浜市立大学附属病院循環器内科もしくは横浜市立大学附属市民総合医療センター心血管センター内科に入院し心不全に対する治療を受けられた方。（先天性心疾患と診断されている方、心疾患がサルコイドーシスや筋ジストロフィーなどの全身疾患に併存している方は対象ではありません）
研究目的 ・方法	本研究の目的は、心不全治療を受けて退院した後の 2 年間に、風邪やインフルエンザなどの感染症をきっかけとして、再び心不全が増悪し再入院することがあったか、また再入院までの日数はどの程度あったかを明らかにすること、そしてその後の症状の経過について比較することです。また、その関連要因を検討することで感染症をきっかけとして心不全増悪をきたす患者さんの背景要因を明らかにします。過去 5 年間（2013/1～2017/12）に心不全の初回入院もしくは心不全増悪で再入院した後、生存退院した患者さんの診療録情報を収集します。
研究期間	西暦 2020 年 8 月 25 日 ～ 西暦 2025 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	<p>本研究では、横浜市立大学附属病院と市民総合医療センターから、既存の診療録情報の提供を受けます。</p> <ul style="list-style-type: none">・診療録情報収集期間中は、附属病院とセンター病院の教育担当副看護部長へ鍵のかかるロッカーにデータ保管を依頼し、外部へ持ち出しません。・診療録情報収集後は、横浜市立大学看護教育研究棟内院生室 601 教室内の鍵のかかるロッカーで厳重に保管し、ネットワークから独立したコンピューター端末を使用し解析を行います。研究対象者の氏名や診療録番号は調査対象には含まれません。・紙で保管する場合は二穴ファイルに綴じ、USB を使用する場合はパスワードを設定し、他者が開示できないように厳重に管理します。USB の持ち運びは極力避け、対象施設内もしくは横浜市立大学看護教育研究棟内院生室 601 教室内で使用・保管します。 <p>研究に用いる情報の種類は以下の通りです。</p> <p>情報：年齢、性別、生活背景、病名、合併症、検査データ、処方薬、入院理由・期間 等</p>

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

(単施設研究用)

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話でお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、受診された研究機関の責任者へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。参加の拒否の連絡があった場合は、直ちに情報は破棄処分することを保証いたします。ただし、申し出の時点ですでに診療録情報が提供されていた場合は、個人の特定ができないためデータから除くことができません。また、すでに研究が終了し結果が公表されていた場合はデータから除くことができません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒2236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学大学院 医学研究科 看護学専攻 感染看護学 (研究分担者) 伊藤 綾野

電話番号：045-787-2800 (代表) E-mail：t196603b@yokohama-cu.ac.jp

研究責任者：

横浜市立大学大学院 医学研究科 看護学専攻 感染看護学 渡部 節子

E-mail：wsetuko@yokohama-cu.ac.jp